令和7年2月X日発行

令和７年１月15日(水)に、最終回となる第３回ワークショップを開催しました。日本総研の東 博暢 さんより、「これからの時代と橿原市のポテンシャルについて」講義をいただいた後に、橿原市が一体となって同じ将来を目指すためのビジョンづくりや、組織体ができたら実施したいことなどについて議論を行いました。

これからの時代と橿原市のポテンシャルについて

橿原市の総合政策アドバイザーなども務めている日本総研の東さんの講義では、コンテンツビジネスにおける日本の立ち位置や世界情勢などから、橿原市の持つポテンシャルについてお話しをいただきました。

●世界情勢から鑑みた橿原市の価値

【世界情勢・課題】
・食糧不足
・深刻な人材不足
・医療問題　など
⇒平穏な日常生活への危機

【日本の状況・課題】
・人口問題(少子化の最先端)
・50年単位で進めてきた街づくりの限界
・幸福度が低い
→GDP、寿命の長さは高スコア
→困ったときに助けてくれる人の項目でスコアが低くなっている。

価値観の変化
「便利さ」よりも
「幸せかどうか」

緑地が高価値化
＝地方都市のチャンス

橿原市は…

緑地と都市が共存
橿原神宮や大和三山といった自然があり、都市としても大阪などからのアクセスの良さ、都市として必要な施設の充実とバランスが良い土地。

市の特徴
藤原京・橿原神宮等
1300年の歴史があり、「日本国はじまりの地」。歴史的価値があり語れるのは橿原市だけ。橿原神宮や今井町など時代を超えた見所も。

●ストリートファイターを活用できる強み

世界で戦える日本のIP

誰もが楽しめるeスポーツ

・世界で戦える日本のIPの中でも著名なコンテンツ
・未来を担うこどもたちが楽しみながら生活できる都市
　→幸福度の高いまちづくりができる
・eスポーツはどんな人をも取り残さない、誰もが楽しめるもの。みんながワクワクできる街には自然と人が集まってくる。

⇒大学がある点も重要。若い世代を巻き込みながら地域と大学が連携したまちづくりを。
⇒将来ビジョンのためのスローガンは、バックキャストで望ましい理想の姿から逆算してほしい。
　今考えられる**一番理想的な未来**を描いて。

楽しんでやっていると人が集まってくる

株式会社日本総合研究所
プリンシパル　東 博暢 様

©CAPCOM

将来ビジョンのスローガン：各グループの発表内容

これまでのワークショップを踏まえて、みんなで同じ方向を見ながらストリートファイターとのコラボ関連施策を進めていくための将来ビジョンをスローガンとして検討しました。各グループの発表の後、方向性についても話し合いました。

キンバリーグループ

世界の(地球の)宝かしはら／“ファイトする”まち／“交差する” コラボする街
古い歴史があるというところを前面に押し出して、住んでいる人が誇りを持てる街にしていきつつ、横の繋がりがあるところを改めて強みとして意識しつつ、子育て世代などの今後を担う世代の幸福度を上げていけるようなスローガンとしたい。

ルークグループ

波動県かしはら市／はじまりⅡ／歴史のまちのネクストラウンド
歴史のある街というところから、さらに進化させる気持ちを乗せ、全国・世界中の人に見てもらいたい。進化の部分でストリートファイターを想起させるワードを入れたい。一押しは「波動県かしはら市」。「おかしはら」「かしはらしか」といったダジャレっぽい案も。

ジェイミーグループ

始まりの町 橿原市――ストリートファイターの魂ここに宿る
歴史のある街としても広げつつ、橿原市をストリートファイターの街にするという点を意識し、サブタイトル的なところに工夫を凝らした。銅像やマンホールなどキャラクターの魂が橿原市に住み着いていくようなイメージを込めた。

どのようなスローガンが良いかの検討
・歴史のある橿原という背景を各グループが意識しており、橿原の特徴としてスローガンに入れていくのも良いし、パッと覚えてもらいやすいようなインパクトのあるスローガンも良い。
・もっと散らかしたスローガンにしても良いかも？
⇒インパクトの点で「波動県かしはら市」への支持が多くあり、講師の東さんからも、洒落が利いた案があってよかった。ここでしか使えないようなキーワードを入れるのがポイントになってくると思うとフィードバックをいただきました。

組織体ができたら優先的に取り組みたいこと

これまでのワークショップを踏まえて、みんなで同じ方向を見ながらストリートファイターとのコラボ関連施策を進めていくための将来ビジョンをスローガンとして検討しました。各グループの発表の後、方向性についても話し合いました。

キンバリーグループ

拠点を作り、拠点を中心とした様々な施策を実施していく

フラッグシップショップ＋見所各所にショップ

ルークグループ

フラッグシップショップを中心として大学も巻き込み町中にストファイを

ジェイミーグループ

「宿泊」を第一に付加価値を高めキャラクター特性を活かしたコラボ

3回のワークショップを通しての感想：
・橿原市の素晴らしいところをまだまだ発信しきれていないので、発信して街を少しでもよりよくしていきたい。
・色々な意見を聞けて自分自身の勉強になった。カプコンさんのご厚意でできることが多く本当にありがたいと思った。
・橿原市は住むには良い街だが、素通りされがち。この場での学びを活かして魅力的な街としてより広報していきたい。
・IPを絡めて街の活性化ができるのは貴重なので、県外、海外から人が来てもらえるような街にしていきたい。
・みんなで出したコラボアイデアがとても良かったので、実現できるように動いていきたい。
・色々な意見、自分だけでは思いつかないようなアイデアがでていた。カプコンさんとコラボを通して橿原市を盛り上げていきたい。こんなにもカプコンさんが本気で取り組んでくださっていることを知れて良かった。

©CAPCOM